

# 河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略平成30年度地方創生推進交付金事業 の評価について

## 1. 概要

今回の行財政評価委員会では、河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の主な取り組みとして、平成30年度に地方創生推進交付金の交付を受けた事業について、市で実施した内部評価に対し、外部の視点で評価していただきます。

評価対象事業	評価資料（送付資料）
要素事業	
奥河内観光地域づくり推進事業	○総合シート
①「奥河内くろまろの郷」観光プログラム推進事業	○評価シート
②奥河内魅力創出事業	○評価シート
③地域ブランド推進事業	○評価シート 【資料】奥河内フルーツラリーリーフレット
④森林への関心向上プログラム推進事業	○評価シート
⑤経営基盤整備に係る事業者支援等	○評価シート 【資料】平成30年度女性就労支援事業（写真） 【資料】就職対策講座チラシ 【資料】女性の働き方デザインセミナーチラシ
「丘の生活拠点」（南花台）自立化推進モデル事業	○総合シート
①「丘の生活拠点」（南花台）自立化推進モデル事業	○評価シート 【資料】咲く南花台プロジェクト説明資料

※交付金事業ごとに、「総合シート」・「評価シート」をホッチキス止めし、資料は、後にまとめて添付し、送付しています。

## 2. 河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

少子・高齢化に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への一極集中を是正し、活力ある社会を維持していくため、平成26年（2014年）に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。これを受け、本市では、国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案し、本市人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び地域の実情に応じた5か年の施策の方向を提示し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環の確立と、その好循環を支える「まち」の活性化を図る「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（別添資料）を平成28年2月に策定しました。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みのうち、平成30年度は、2事業について国より地方創生推進交付金の交付を受け、事業を実施しています。

### 3. 評価の方法

#### (1) 事前評価 (3月1日まで)

交付事業ごとに「総合シート」を、要素事業ごとに「評価シート」を作成しています。各シートや添付資料を参考にいただき、事業の内容をご確認ください。ご確認くださいましたら、「総合シート」に記載の事業の目標及び数値目標 (KPI) を達成するために、評価年度に実施した各要素事業が効果的であったかとの観点から、各「評価シート」の下記部分について評価をお願いします。

【委員会評価】①～③を選択してください。

【評価等に対する意見】事業に関するご意見等を記入してください。

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業は交付金事業の目標・KPIを達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

#### (2) 本評価 (3月1日)

行財政評価委員会当日は、各事業について、ご不明な点などをご確認いただきます。会議終了後、評価をいただきました評価シートは回収させていただきますので、ご持参いただきますようお願いいたします。

### <参考：評価シートについて>

#### ■総合シート

交付金事業ごとに、事業全体の目標や数値目標 (KPI) 等について記載しています。

事業名称等	交付金事業の名称、事業全体の目標及び概要を記載しています。
数値目標及び実績	事業全体の数値目標 (KPI) と、その実績を記載しています。また、指標の状況及び今後の事業全体の考え方について記載しています。
(事業の構成)	複数の要素事業で構成される事業については、要素事業の構成表を記載しています。

#### ■評価シート

事業を構成する要素事業ごとに、具体的な事業の内容や行政の内部評価、今後の課題等について記載しています。

実施事業	評価年度に実施した具体的な取り組みの内容について記載しています。またその成果について、できる限り具体的な数値で表せるよう、参考指標を示しています。
担当者評価	評価年度に実施した取り組みが、交付金事業の目標及びKPIを達成するために効果があったかとの視点より事業担当部署が評価を行い、その評価内容についてコメントを記載しています。 評価：交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③「効果があった」、「④効果がなかった」より選択
改善	今後の課題や取り組みの方向性について記載しています。